

電機・情報通信部会 2019年上期の回顧と下期の展望

2019年8月22日
電機・情報通信部会

部会名の変更について

- ✓ 電気電子部会は、運輸サービス部会の情報通信関係の会員企業、NTT Data Brasil、NTT do Brasil、NTT Docomo Brasil、Ubik do Brasilの4社を編入し、6月より電機・情報通信部会に部会名を改名。
- ✓ 部会員数は22社から26社に増加。

「2019年度06月常任理事会議事録」より

部会の再編成について

5月10日、総務副委員長を議長に電気電子/運輸サービス両部会の部会長および副部会長に参集頂き、従来の電気・電子部会に運輸サービスの情報通信分野の企業を電機・情報通信（改名）に編入、正式発足は本日6月19日の理事会承認後とする。

2019年上期の回顧と下期の展望 会員アンケート結果

電機・情報通信部会各社の販売動向(対前年)

「維持」を対前年比**100～109%**として分類

2月時点の
2019年展望

	改善	維持	悪化	合計
19年 展望	10	5	1	16
(%)	63%	31%	6%	100%

今回の
アンケート
結果

	改善	維持	悪化	合計
19年上期 回顧	7	5	1	13
(%)	54%	38%	8%	100%

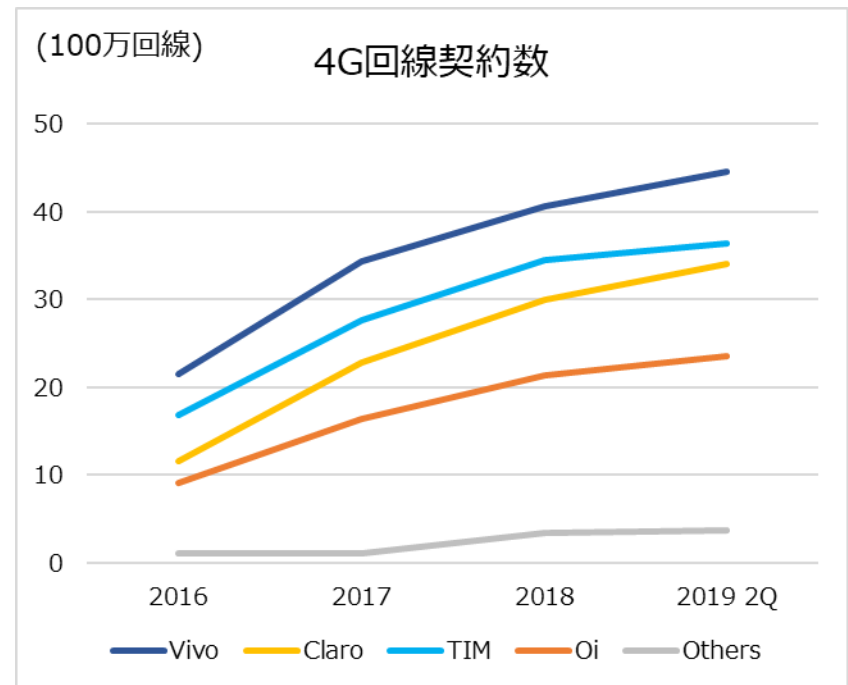
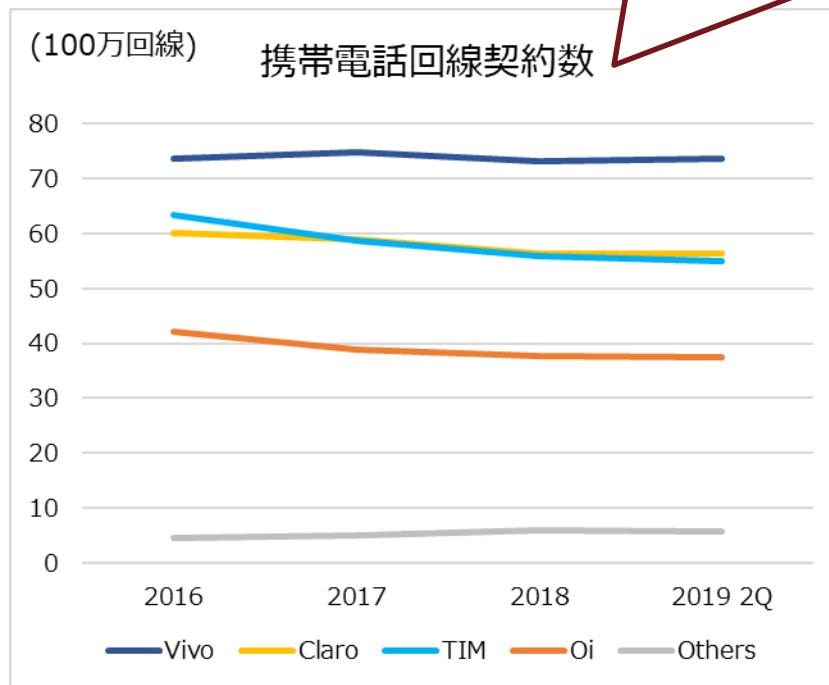
	改善	維持	悪化	合計
19年下期 展望	7	4	2	13
(%)	54%	31%	15%	100%

2019年上期の回顧と下期の展望 会員アンケート結果

- ✓ 日本×メルコスールEPAの早期締結。
- ✓ 韓国およびEU×メルコスールのFTA進捗状況。
- ✓ 隣国アルゼンチンの大統領選挙・経済動向。同国の不況が対アルゼンチンビジネスに大きな影響。
- ✓ ブラジルの年金改革および税制改革の動向と景気の回復。
- ✓ レアル安によるビジネスへの影響。

ブラジルの携帯電話回線契約数傾向

ブラジルの携帯電話回線契約数は、中国、インド、米国、インドネシアに次いで世界第5位。(2015年)



- ✓ 大手通信事業者の携帯回線契約数はほぼ横ばい。
- ✓ 各社の携帯電話回線契約数の約半数が4G(第4世代)に移行済み。各社の4G回線契約数は2016年と比べ2~3倍に増加、急速に普及している。

出典：<https://www.teleco.com.br/>

主要国の5G(第5世代)開始状況

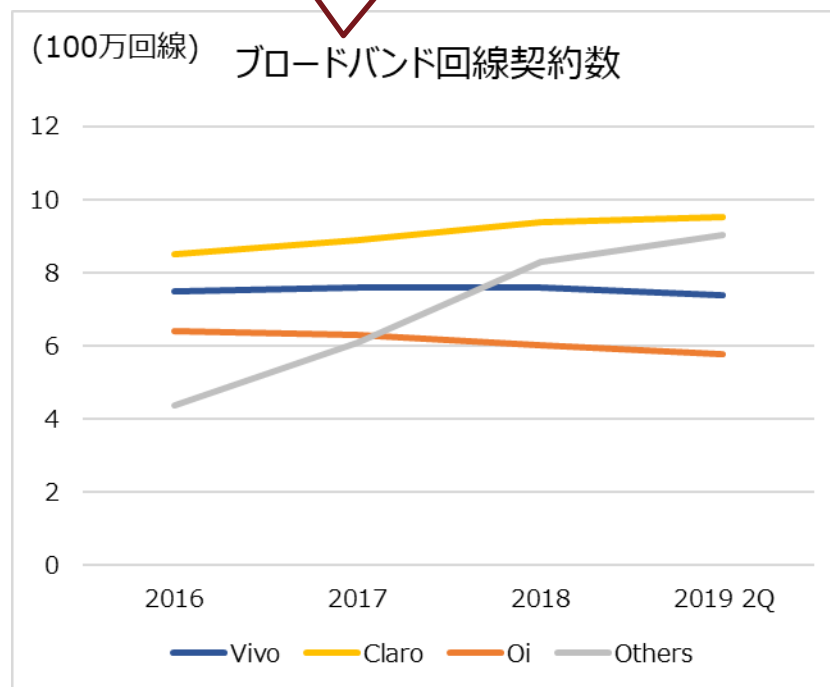
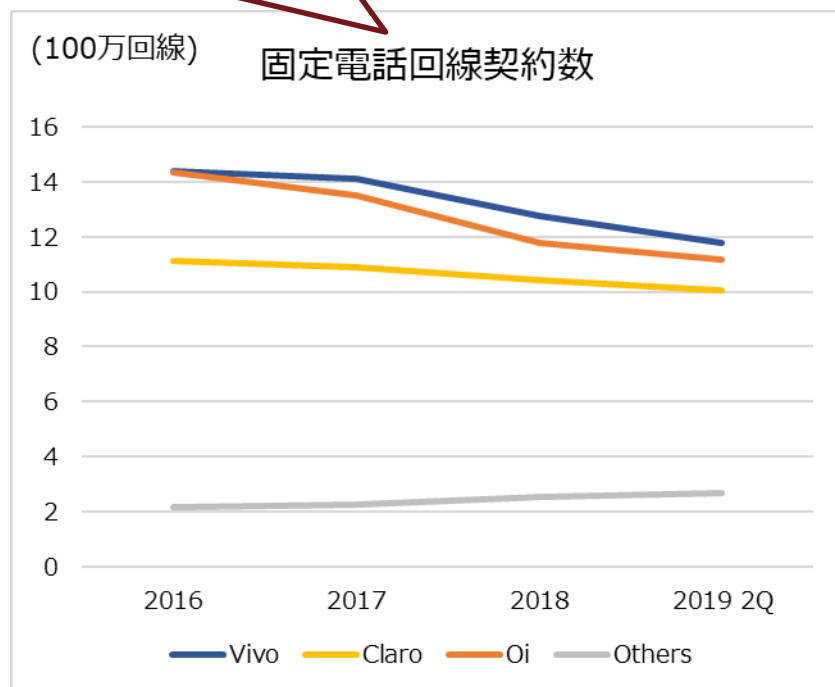
※いずれも段階的にサービススタート

国名	5Gサービス状況
 アメリカ	✓ 今年4月3日にVerizon社が5Gサービスを開始、同5月31日にSprint社が5Gサービスを開始。 ✓ 残るAT&T、T-Mobileも2019年中にサービス開始予定。
 韓国	✓ 今年4月3日にキャリア3社が5Gサービスを同時に開始。 ✓ 韓国は世界で初めて5Gのサービスを開始。(上記アメリカより数時間早くサービス開始)
 日本	✓ 今夏以降キャリア各社が5Gプレサービスを開始。 ✓ 2020年の東京五輪までにキャリア4社が5Gサービスを開始する計画。
 欧州	✓ 一部の国では2019年から5Gサービスをする予定も、多くの国では2020年以降5Gサービス開始予定。
 中国	✓ 既存キャリア3社+新規参入1社が今年中に5Gサービス開始予定。 ✓ 今年8月に一部5G対応端末の発売開始。
 ブラジル	✓ 今年7月に意見公募を実施、来年3月に周波数割り当て入札実施予定。 ✓ 華為は8億ドルを投じてサンパウロ州内に5G基地局製造工場を建設予定。

ブラジルの固定回線契約数傾向

ブラジルの固定電話回線契約数は、中国、米国、日本に次いで世界第4位。(2015年)

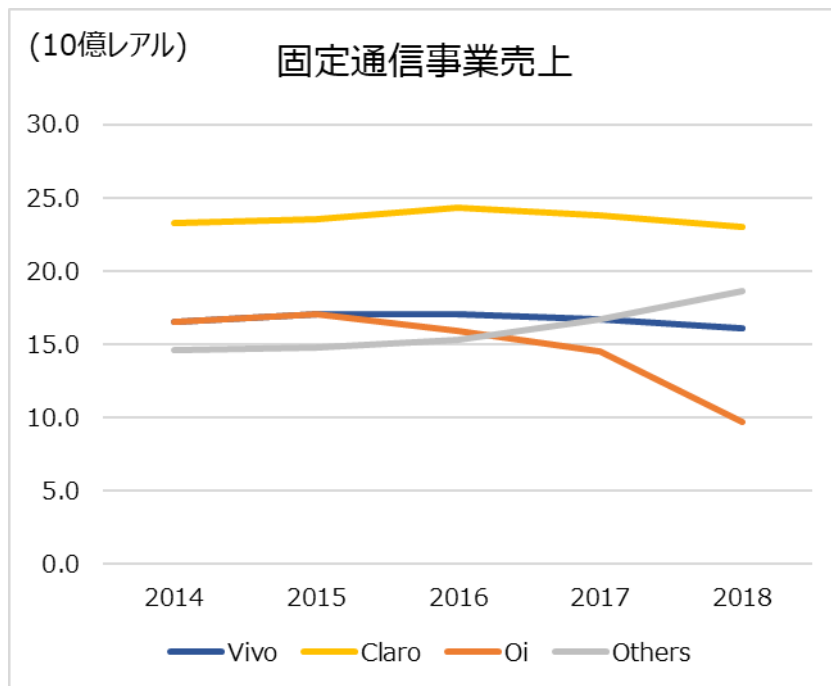
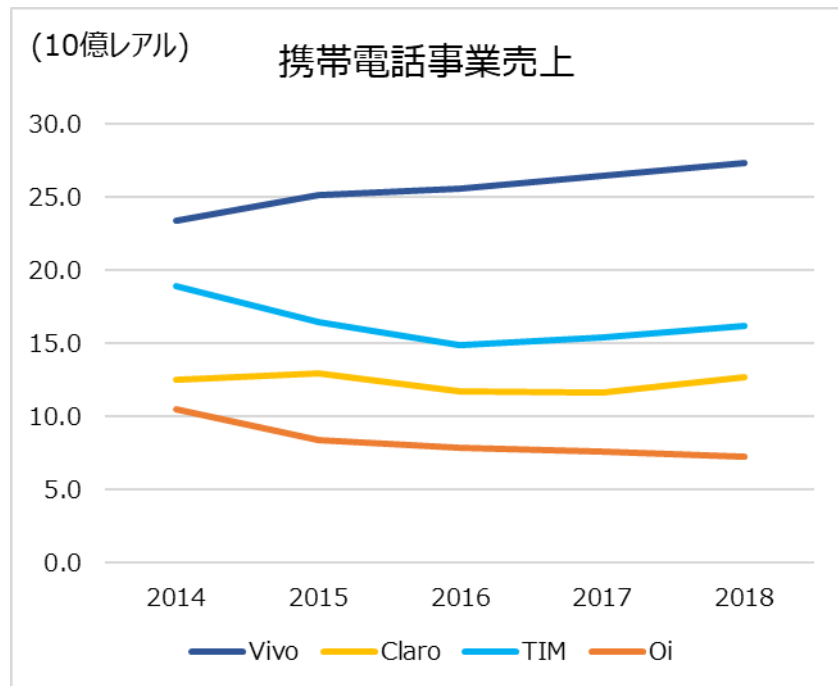
ブラジルの固定ブロードバンド回線契約数は世界第7位。(2015年。TOP3は中国、米国、日本。)



- ✓ 固定電話回線契約数は減少傾向。
- ✓ 一方で固定ブロードバンド回線契約数は増加傾向。急増しているOthersは家庭・中小企業向けに回線を提供している4000以上の中小規模のプロバイダにより構成。

出典：<https://www.teleco.com.br/>

ブラジルの携帯・固定通信事業売上推移

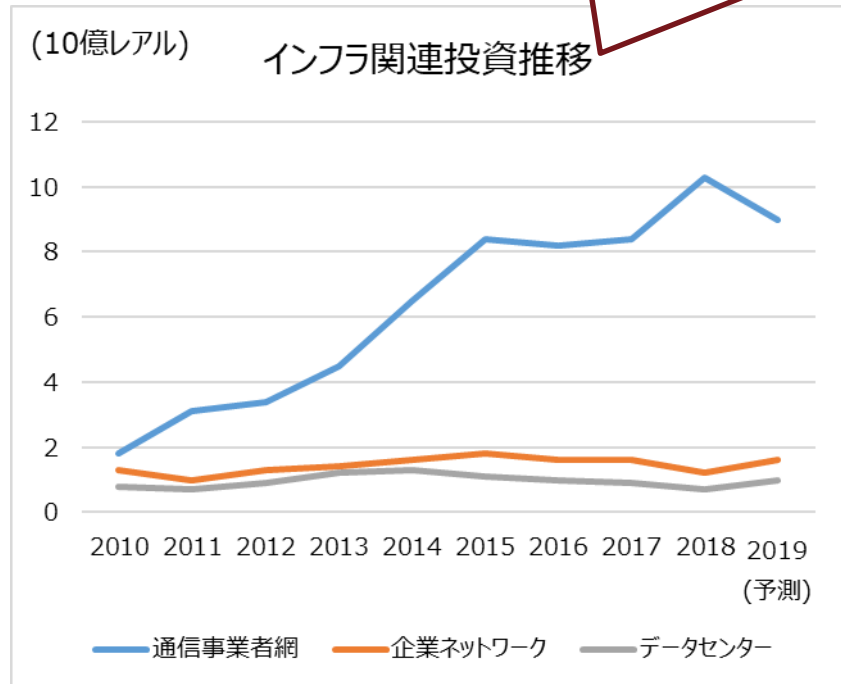
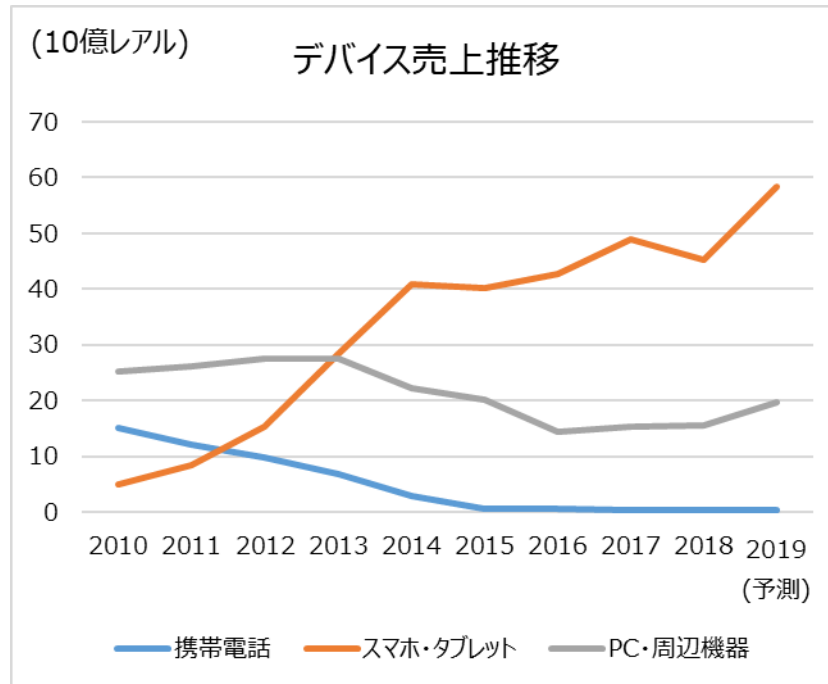


- ✓ Vivo、Claro、TIMの携帯通信事業の売上はゆるやかに増加傾向。2016年より再生手続き中のOiの売上は減少傾向。
- ✓ 大手各社の固定通信事業(電話・ブロードバンド)の売上は減少傾向も、前述のブロードバンド回線契約数と同様、無数の中小規模のプロバイダにより構成されるOthersが大きく売上を伸ばし、固定通信市場全体の売上はほぼ横ばい。

出典：<https://www.teleco.com.br/>

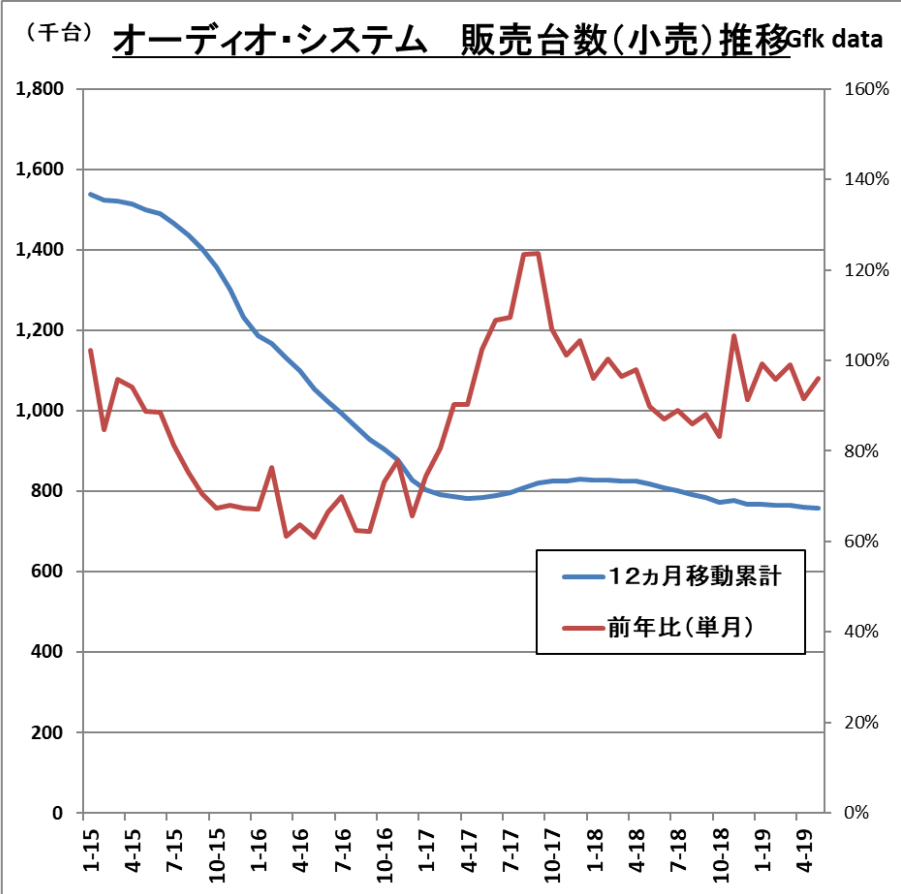
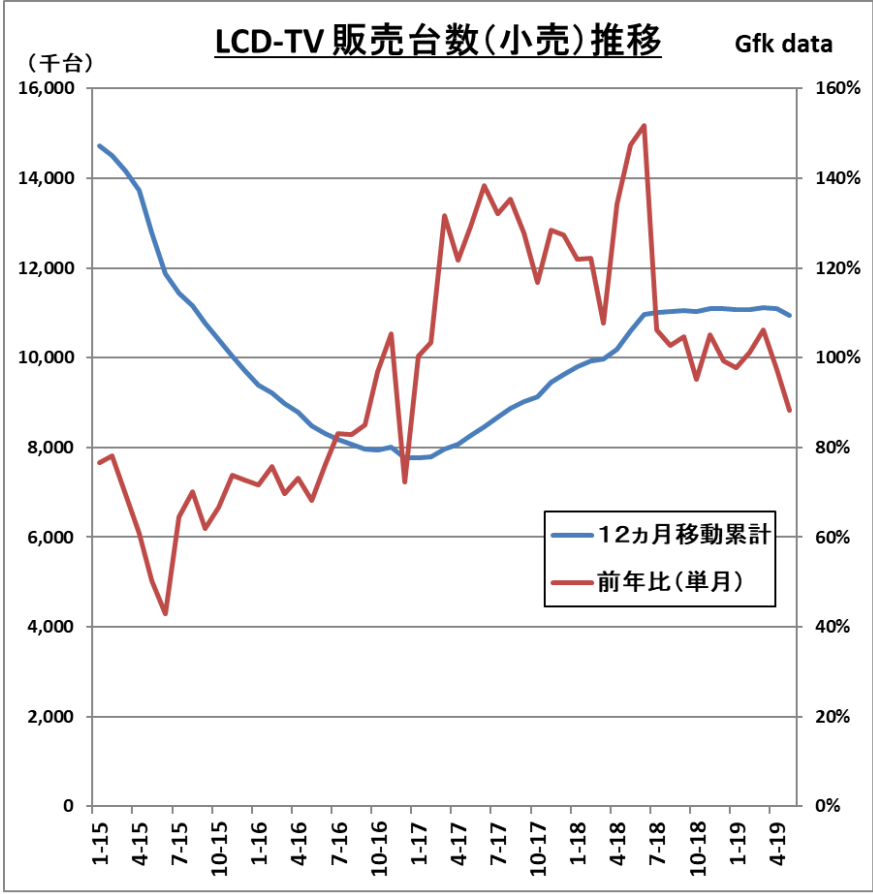
ブラジルの情報通信市場の売上・投資傾向

ブラジルの情報通信インフラへの投資額は世界全体の3~4%。(概算)



- ✓ 携帯電話、PC・周辺機器の売上が減少傾向にあるのに対し、スマホ・タブレットの売上は引き続き上昇傾向。
- ✓ 通信事業者のネットワークへの投資は上昇傾向。2020年以降スタートする5G事業への投資にも期待。
- ✓ 世界のネットワークインフラ関連投資は、ハードウェアからクラウドへ移行する事によりコストを抑える動きあり。 出典：Brasscom社資料

ブラジルの液晶TV、オーディオシステム販売台数(小売)の推移



- ✓ テレビは昨年はワールドカップ特需あり、以降昨年度並みの水準で推移してきたが、今年4月より減速。
- ✓ オーディオは昨年のワールドカップ後に市場が回復、以降一部モデルを除き好調を維持。

マナウスフリーゾーン(ZFM)を取り巻く環境

ZFMとEPA/FTA

- ✓ 7月25日、韓国とメルコスールは3回目のFTA交渉を実施、交渉プロセスは2020年半ばに終了見込み。
- ✓ 6月28日、EUとメルコスールはFTAに合意。
- ✓ ZFMに工場を持つ企業は、上記FTAによりメリットが無くなる上、高い国内ロジコストの分不利になる懸念あり。

ZFMと税制改革

- ✓ ZFMの発展・維持には税制恩典が不可欠。
- ✓ 税制恩典はボルソナーロ政権が推進する税制改革と共存できるか。

ブラジル政府もZFMとその税制恩典の重要性は認識、今後の政策に注目

韓国×メルコスールFTA進捗状況

FTA進捗経緯

- ✓ 2018年9月、第1回交渉をウルグアイ・モンテビデオにて開催。今後の進め方につき議論を実施。
- ✓ 2019年4月、第2回交渉を韓国・ソウルで開催。
- ✓ 2019年7月、第3回交渉をウルグアイ・モンテビデオにて開催。交渉プロセスは2020年半ばに終了の見通し。

韓国勢の動き

- ✓ これまでもウォン安を前面に出した低価格攻勢を展開。
- ✓ 韓国勢はFTAによる電子製品、自動車、それら部品等の輸出拡大を期待。

韓国勢に対抗するため、日本×メルコスール間EPA促進が急務

中南米への米中関係の影響

ZTE市中監視システム@アルゼンチン

- ✓ ZTEはアルゼンチンSan Salvador市に市中監視システムを導入中。
- ✓ 情報セキュリティの観点から、同案件には米国政府が懸念を示している。

Huawei 5G@ブラジル

- ✓ ブラジルのモウラン副大統領は、同国の5G入札関連のプロジェクトからのHuaweiの締め出しを否定。同氏は中国でHuawei CEOと会談を行うなど中国とは友好的。
- ✓ 米国政府は5Gネットワークの脆弱性に関する機密文書をブラジル政府に共有し、本件に警告を行っている。

米中関係が悪化する中、中南米諸国は親米路線の立場をとりつつも、中国は重要なパートナーであり関係を強化する傾向。

日本勢も官民一体となった新政権との関係構築が必要

商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望

- ✓ 日本×メルコスール間のEPA促進。
- ✓ 韓国×メルコスール、EU×メルコスール間FTA進捗のモニタリング。
- ✓ アルゼンチンの政治・経済状況および同市場景気動向のモニタリング。
- ✓ 中国・韓国勢のアグレッシブな動きに対抗するため、官民一体となった新政権との関係構築。

ご清聴、ありがとうございました。